



2024年3月期第2四半期 決算説明会

イチカワ株式会社

(証券コード：3513)

2023年12月13日(水)

01

イチカワについて

02

イチカワ成長戦略

03

2024年3月期第2四半期決算概要

04

2024年3月期 業績予想及び株主還元

05

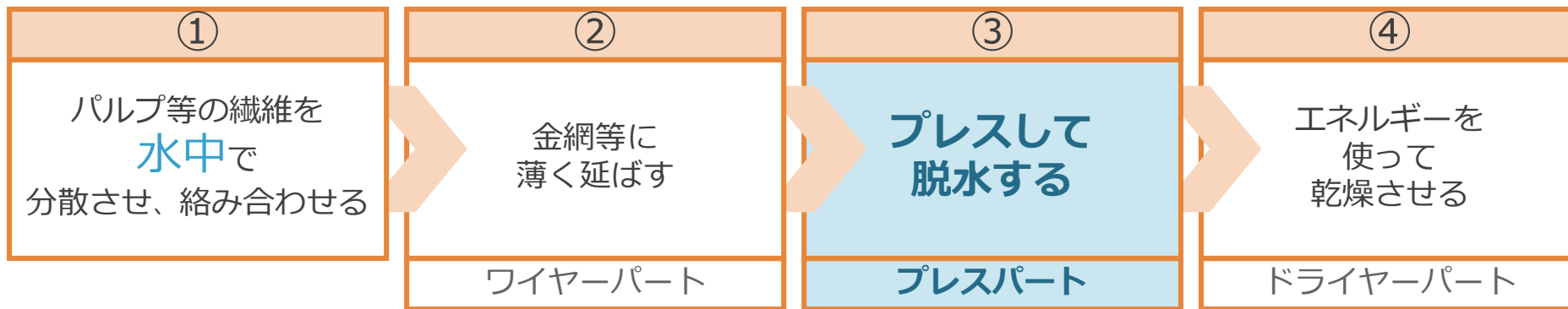
企業価値向上へ

01

イチカワについて

会社名	イチカワ株式会社 (ICHIKAWA Co., Ltd.)
設立	1949年11月21日 (創立74年)
本社所在地	東京都文京区本郷二丁目14番15号
事業内容	抄紙用フェルト、抄紙用ベルト、スレート用フェルト及び 工業用フェルトの製造・販売
資本金	3,594百万円
業績	連結売上高13,344百万円、連結営業利益800百万円(2023年3月期)
従業員数	686名
製造拠点	柏工場(千葉県柏市)・岩間工場(茨城県笠間市)
証券コード・上場市場	3513・東京証券取引所市場 「スタンダード」
連結子会社数	7社(国内3社・海外4社)
海外現地法人	4社(米国、ドイツ、中国、タイ)

紙はどうやって作られるのか？



紙を作るうえでのエネルギー問題・・・

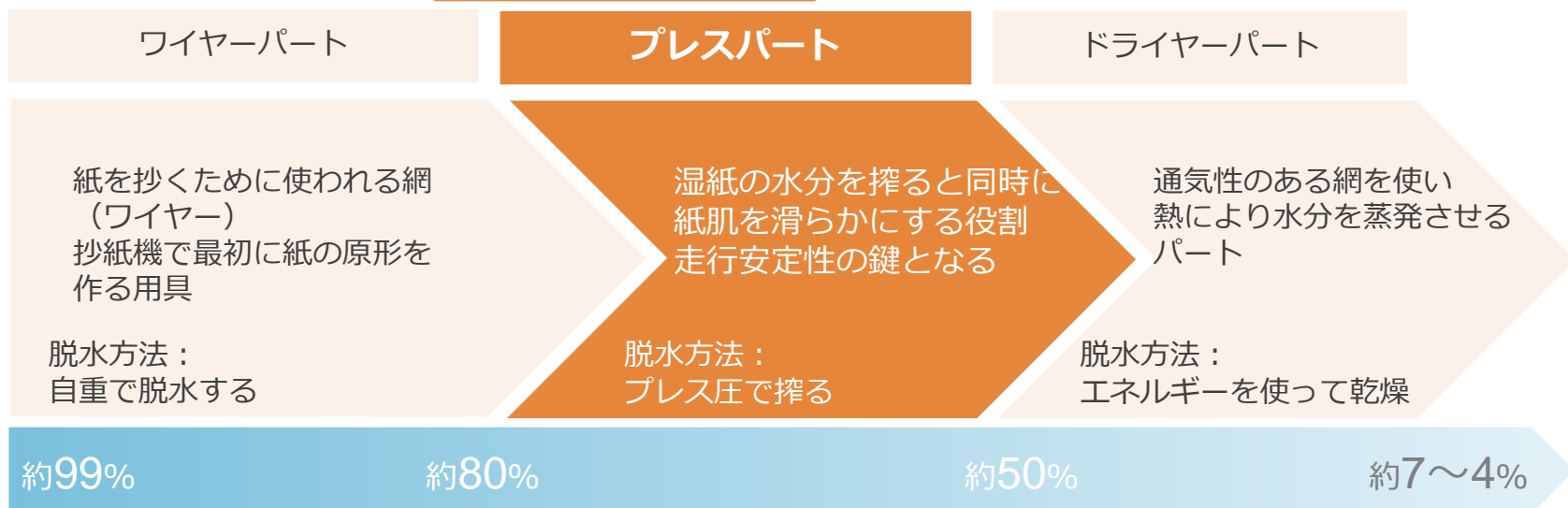
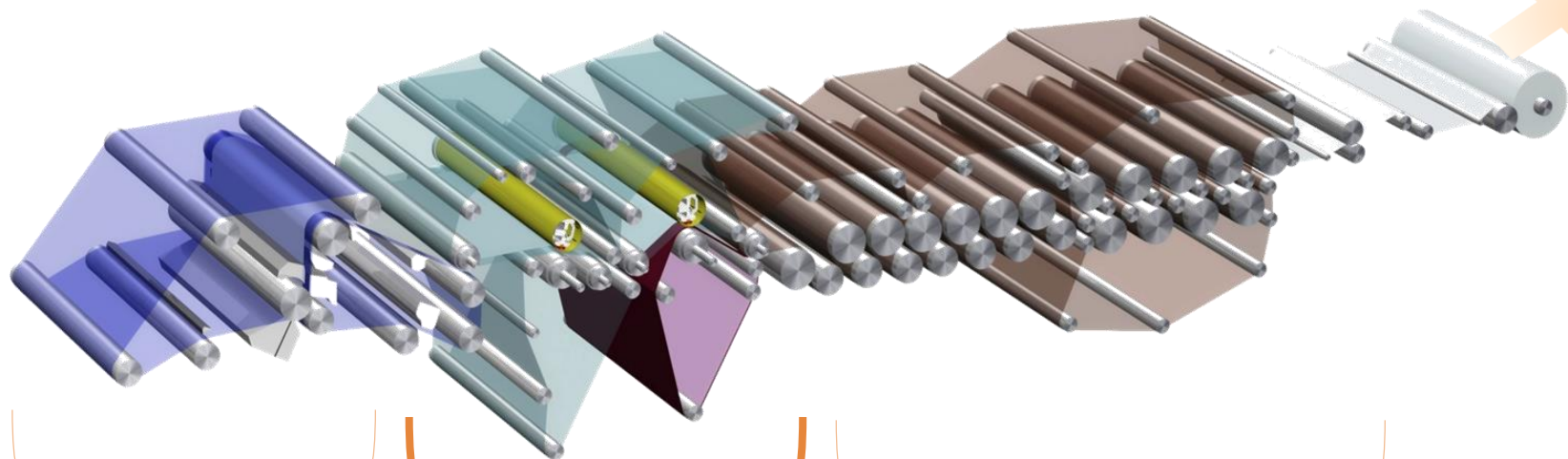
1. パルプ等の繊維同士が水を使って絡まり合い**水素結合**することで紙になる
→製紙工程において**水を大量に使う**。
2. 脱水できない水分は乾燥させるために
④【ドライヤーパート】で膨大なエネルギーを使用する。

乾燥前の③【プレスして脱水する】段階で
いかに水分を搾れるかが重要なポイント

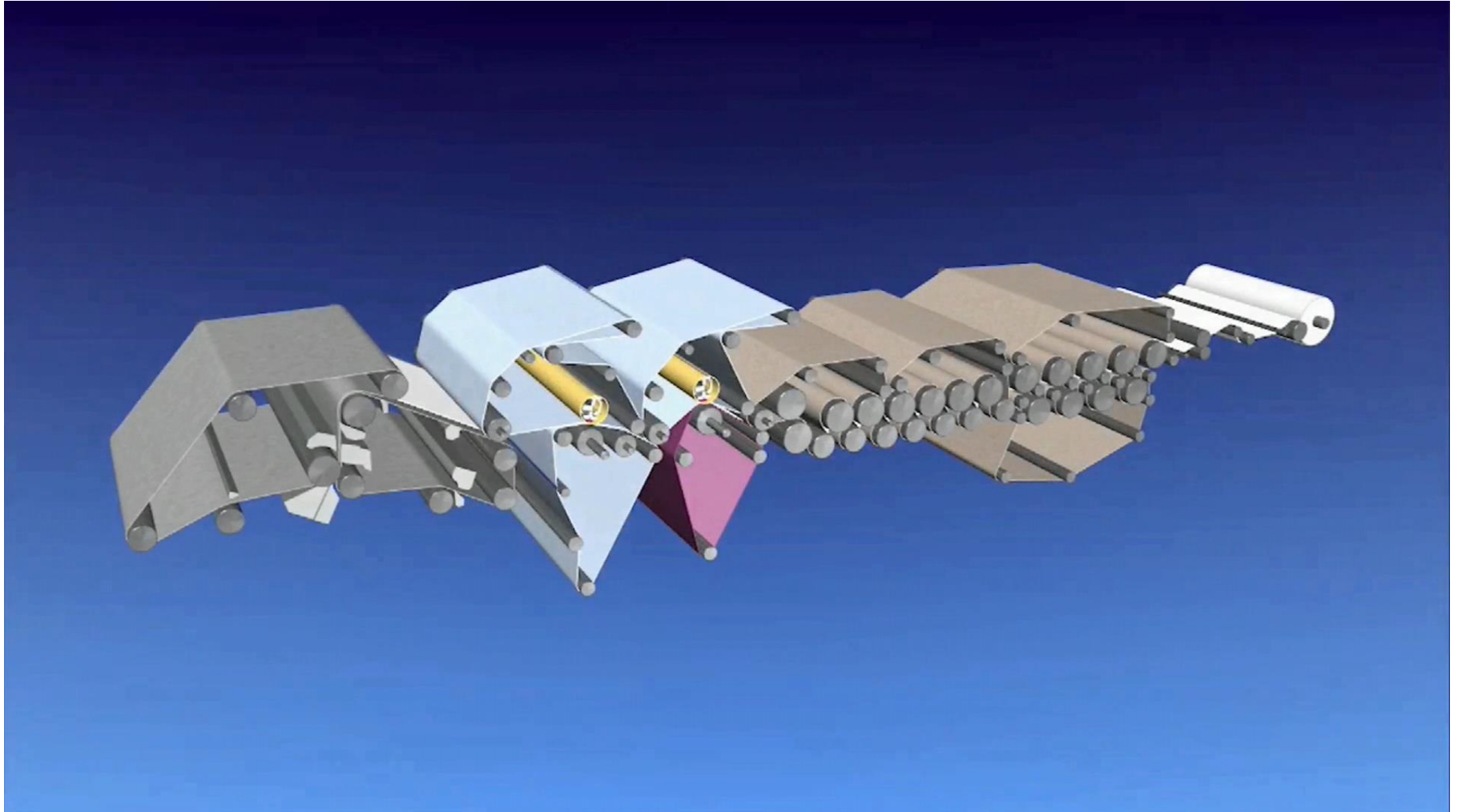
 **ichikawa** は紙を作るうえでここに貢献している！！

製紙工程の重要な役割（効率的な脱水）を担っている

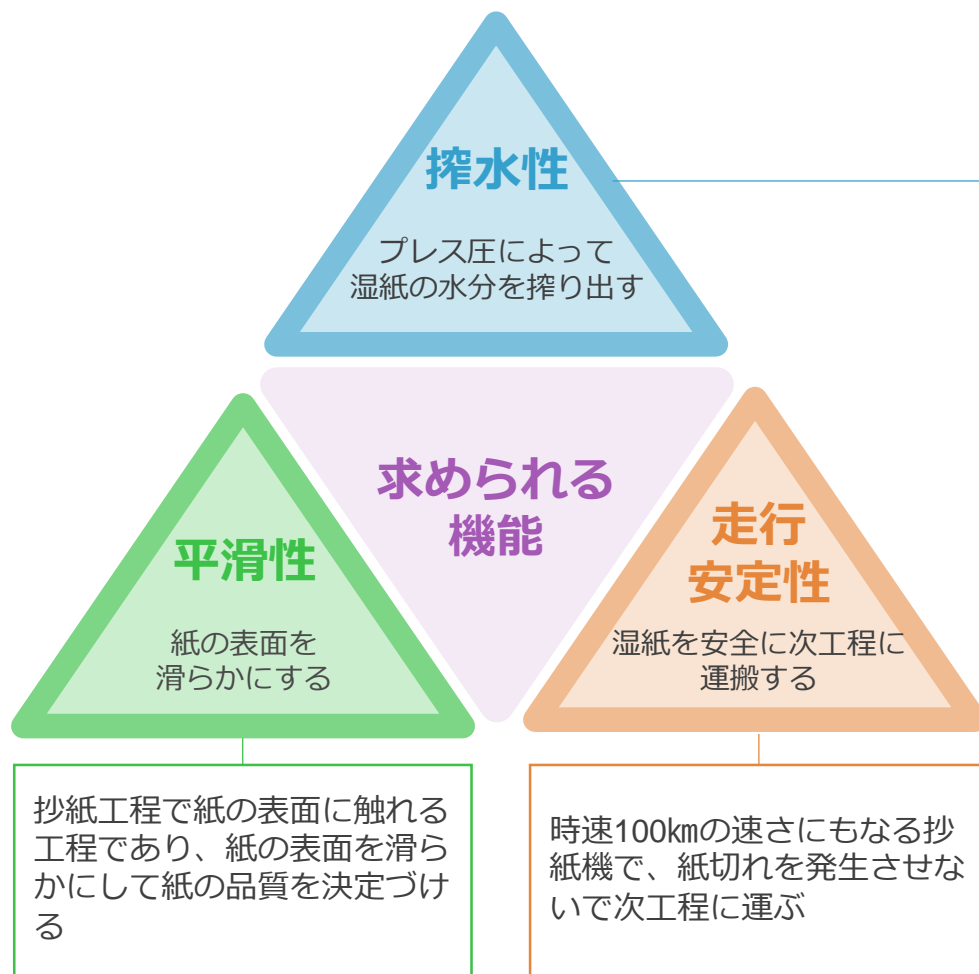
プレスパートの能力を最大限発揮できるように貢献しています。



工程内
水分量



プレスパート＝
抄紙工程において品質面・環境面・コスト面で最重要工程



既存の抄紙用具事業と工業用の技術を応用し、 第2の柱として成長させる

工業用事業

- 抄紙用具関連事業の製造技術応用により開発した工業用フェルトの製造販売
- 高耐熱や高強度の特徴を持つ高機能繊維を原料として開発された製品
- アルミ押出業界、プリント基板業界、製鉄業界などの生産現場で使用



対象業界：建材・自動車 等
代表製品：サーモテックス

500℃以上の高温で成型されたアルミ材に
傷・歪みをつけず搬送
→高耐熱性、搬送性に優れる



対象業界：半導体、建材 等
代表製品：エースボード

プリント基板や建材などを高温で
プレス・成型する際に使用
→高耐熱性、クッションの持続性に優れる



アルミサッシ



自動車ボディ



プリント基板



スマートフォン、タブレット

新規事業

- 「環境にやさしい、人々の生活を豊かにする製品や部材を届ける」事業を創設する

02

イチカワ成長戦略

◆ 紙・板紙生産状況（地域別）

● 日本：2,400万トン

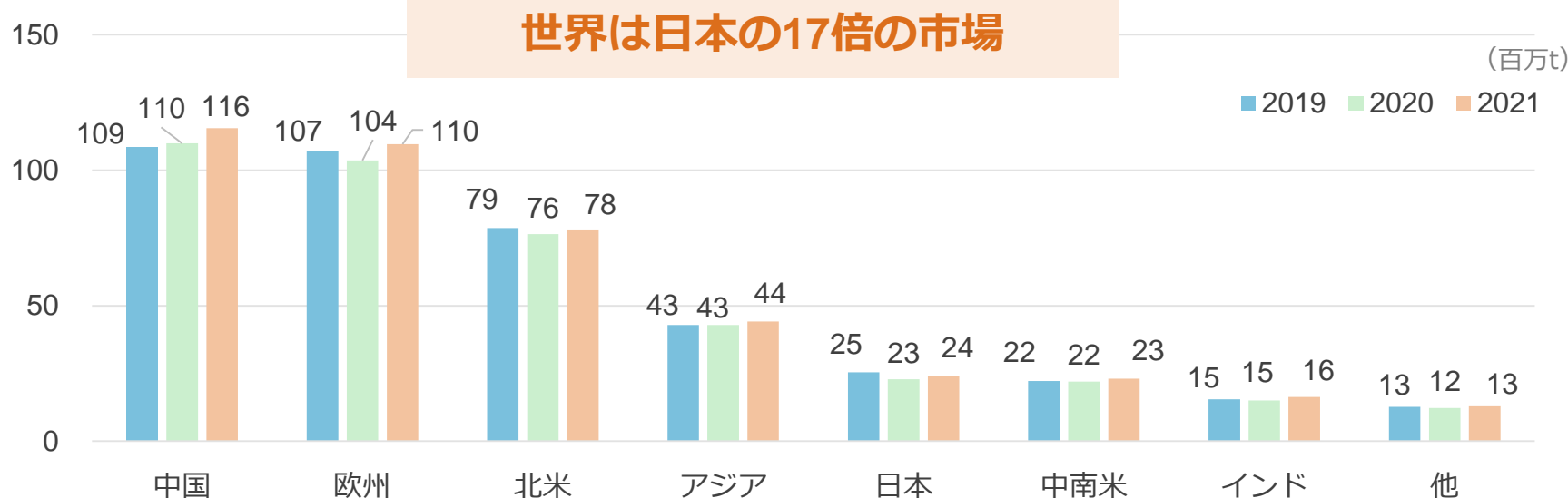
- ➡ 中国、米国に次ぐ世界第三位の市場
- ➡ コロナ禍の影響により10%減少、回復ペースは鈍化

● 世界：4億2,300万トン

- ➡ 成熟市場（米国、欧州）は減少傾向だが
中国・アジア中心に増加。全体で右肩上がりが続く

「海外市場」
成長ポテンシャルあり

地域・国別生産量

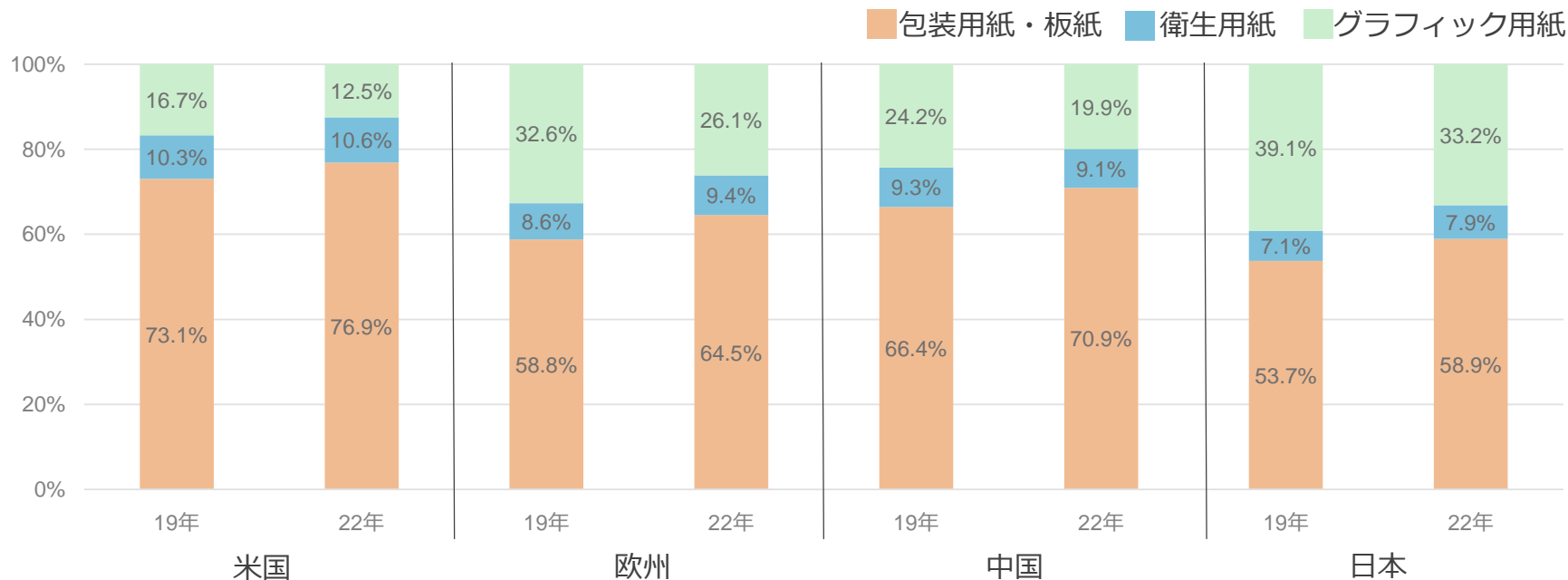


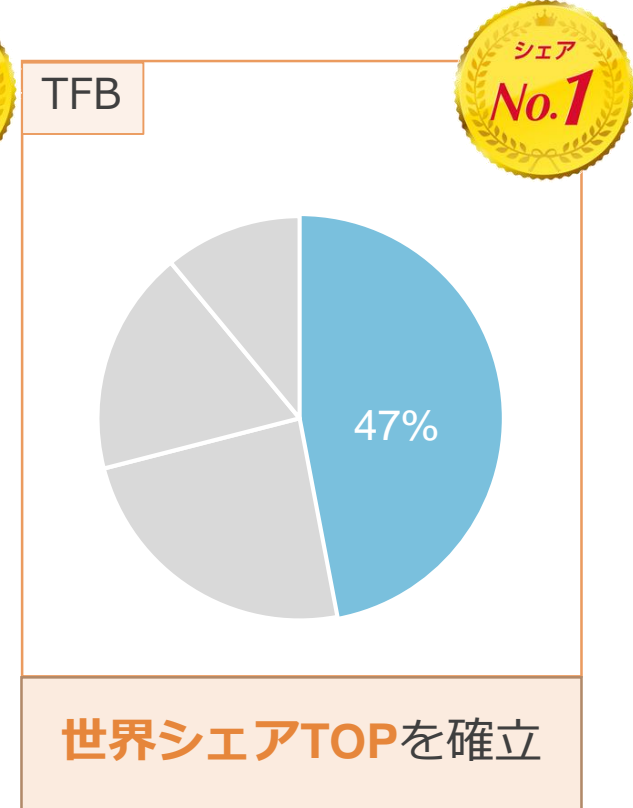
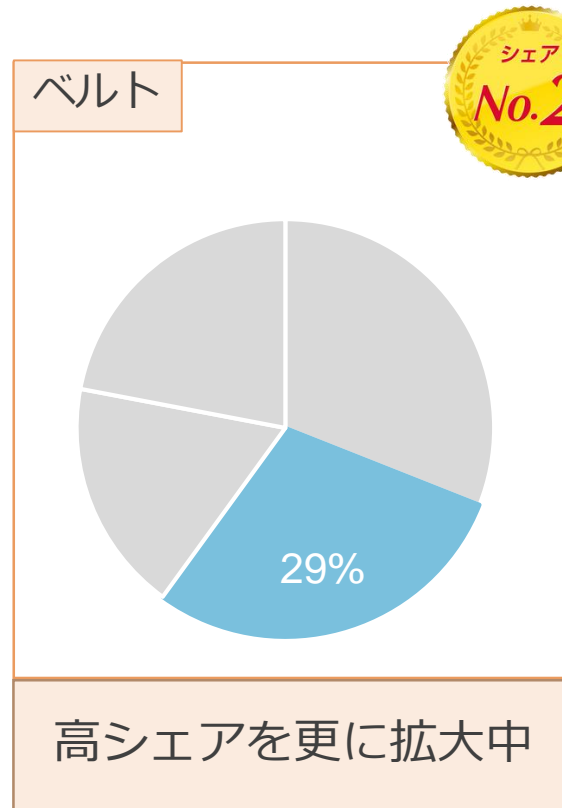
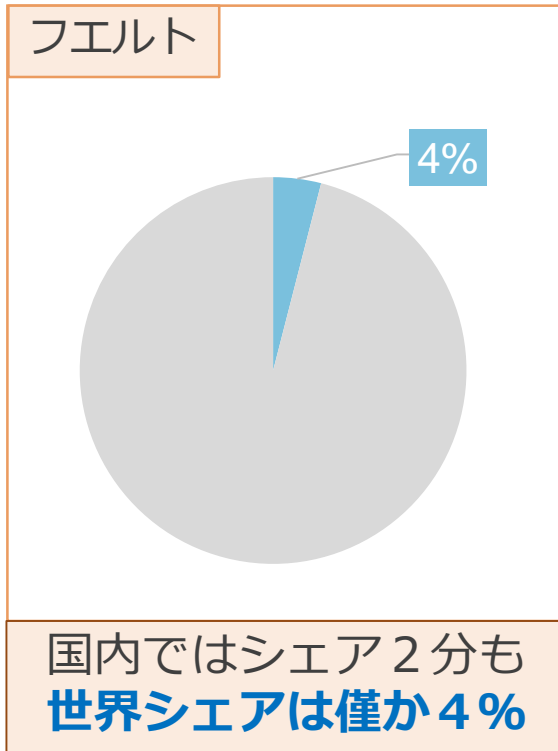
◆ 紙・板紙生産状況（種類別）

- グラフィック用紙（新聞用紙や印刷情報用紙など）
デジタル化の加速等を背景に**減少**
- 板紙・包装用紙（段ボール、包装用紙など）
通販市場の拡大に伴い**増加**、中国・東南アジアを中心に設備投資が旺盛
- 衛生用紙（ティッシュペーパーやトイレットペーパーなど）
生活必需品としての底堅さに加え、衛生意識の高まり等を背景に**堅調に推移**

**「板紙」・「衛生用紙」
成長ポテンシャルあり**

生産量構成比（コロナ禍前・後の比較）





※2022年度 当社調べ

「フェルト市場」に成長ポテンシャルあり

国内抄紙用具メーカーの構図

製紙工程	ワイヤー パート	プレスパート			ドライ パート
用具名	ワイヤー	フェルト	ベルト	TFB	カンバス
イチカワ		○	○	○	
A社	○	○	仕入 販売		
B社	○				
C社			(○) 製造		
D社					○
E社	○				○

Only one (プレスパート専門企業)

フェルトを含むプレスパートにおいて全用具を製造・販売しているのは
国内では「イチカワ」のみ
※世界でも「9社中3社のみ」



紙の製造上、品質・エネルギーコスト面で一番重要視されるプレスパートの能力が最大限発揮出来る用具の組み合わせを提供



「全て自社製品」で
提案・開発・供給が可能

プレスパートは他のパートと比較して「製造難度・品質・設備投資」等の面から他社及び新規の参入は困難。

進出地域	北・南米	欧州・中東	中国	アジア
イチカワ	○	○	○	○
A社			○	○

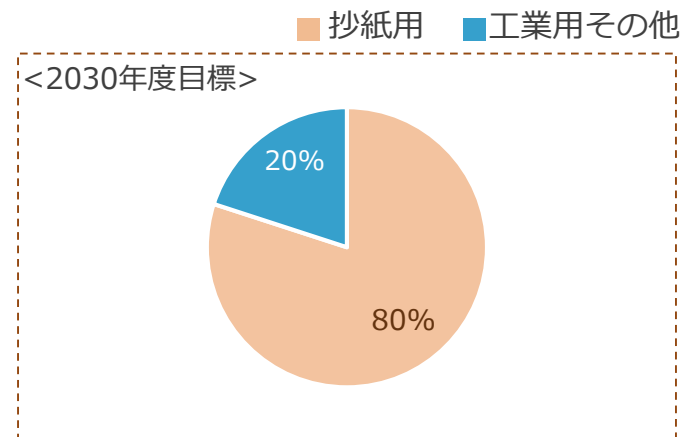
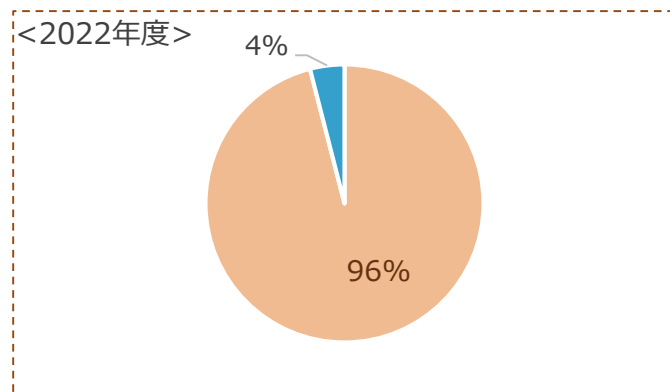
Global Company

世界を網羅した販売体制を構築している

- ・米国、ドイツ、中国、タイの4か国に現地法人を設置。
- ・海外販売の商流やノウハウが豊富

<p>国内</p> <p>安定した収益基盤</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 需要が減少する中での収益確保、シェア拡大・ 環境に配慮した新製品の開発
<p>海外</p> <p>収益拡大</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 世界へ拡販可能な製造コストの実現・ 原燃料高騰に対応する低コスト体質の構築
<p>その他</p> <p>新たなビジネス領域への挑戦</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 工業用事業の拡大・ 第二の柱として、新規事業創設を模索

目標とする事業ポートフォリオ（売上高構成比）



目標

キャッシュカウ事業として 売上高の維持・更なるシェア拡大

課題

- ・ 当社製品の使用割合に影響する紙の生産量の減少
- ・ 海外競合他社の安価品による日本市場への参入



施策及び進捗状況

- ・ **製品価格改定**
 - ・ 原材料価格の高騰等による製造コスト上昇を吸収するため一部製品で価格改定を実施
- ・ **ソリューション提供力の深化**
 - ・ 最適な操業に対しての提案や顧客が必要とする製品を「自ら考え・開発し・提供」
→ 家庭紙向けのお客様で効果発現。更なる展開を図る
- ・ **新製品投入**
 - ・ 拡販製品のラインナップ拡充（省エネ及び省力化に貢献する製品の開発等）

目標

フェルト世界占有率 4% → 10%
(2030年度目標)



課題

- ・市場はあるが海外は販売単価が低く利益を確保することが困難
(国内は求められる品質が高いため、販売単価も高い)
- ・全ての製品を日本から輸出しなければならず、運送コストが高い

施策及び進捗状況

- ・ **世界へ拡販可能な製造コストの実現**
 - ・ 世界標準の製法、設計への転換による品質向上及び製造コスト低減
 - ・ 海外向け製品の製造工程見直し
- ・ **シェア拡大を目指すターゲットの明確化**
 - ・ (種類) イチカワの品質や信頼性が武器となり、今後の需要拡大も見込める家庭紙市場
 - ・ (地域) 設備投資も旺盛なアジア市場を中心

目標

工業用事業の拡大・新規領域での挑戦
連結売上高の 20% を目指す
（2030年度まで）

課題

- ・保有技術応用、異素材複合化などの取り組み強化
- ・各種先端分野に関する技術情報収集活動の強化

施策及び進捗状況

- ・ **新分野への参入・市場開拓**
 - ・ EVや5G関連製品などに使用する最先端プリント基板向けのクッション材の開発・製造（高温処理での耐熱緩衝や平滑性を向上）
 - ・ フッ素代替製品（PFAS規制）など、SDGs対応製品の開発・製造
- ・ **市場ニーズの掘り起こし**
 - ・ 他業種・他業態など外部機関との関係構築による情報ネットワークの拡大と緊密化

耐熱搬送材



- ・ 500℃以上の高温で成型されたアルミ材に傷・歪みをつけず搬送
- 高耐熱性、搬送性に優れる

耐熱緩衝材



- ・ プリント基板や建材などを高温でプレス・成型する際に使用
- 高耐熱性、クッションの持続性に優れる

長期ビジョン「IK VISION 2030」

当社グループは世界的なメガトレンドやお取引先の状況を考慮した上で、経営理念と経営方針に則り、2030年にあるべき姿を明確なビジョンとして掲げ、その実現に向けて3か年ごとの中期経営計画を策定・推進してまいります。

財務指標

	連結売上高	連結高営業利益率
“NE-24”	120億円以上	5.0%以上
“NE-27”	135億円以上	6.0%以上
“NE-30”	150億円以上	7.0%以上

※為替レート \$ 107円 €125円で試算



強みを活かしながら改善すべき点を徹底的に変える継続的活動

**持続的な成長
を目指す**

2021年

重要テーマ

- ・国内市場を攻めながら、海外市場への進出
- ・海外ライバル並みのコスト競争力の獲得
- ・新製品開発力の強化
- ・生産立地の最適化
- ・新事業の創設

“NE-24”進捗状況

- ・設計集約による品質向上、製造コスト低減の実施
- ・海外登用人財を活用した営業力の強化
- ・衛生用紙向けソリューション営業拡大
- ・ベルト新製品の市場投入
- ・開発研究所の生産工場内への移転(開発の加速化)

03

2024年3月期第2四半期 決算概要

2024年3月期第2四半期 連結損益計算書

前年同期比 増収・増益 / 中間予想値を超過

中国経済悪化に伴うフェルト需要減少も、国内の製品価格改定や円安効果もあり売上高増。増収増益を達成。

(単位：百万円)

	2023年3月期 2Q (実績)	2024年3月期 2Q (実績)	増減率	修正前予想※	乖離率
売上高	6,515	6,860	5.3%	6,600	3.9%
売上総利益	2,607	2,948	13.0%	—	—
営業利益	330	649	96.4%	290	123.8%
営業利益率	5.1%	9.5%	—	4.4%	—
経常利益	564	835	48.1%	350	138.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	450	587	30.3%	260	125.8%
為替レート (期末)	米ドル	144.81円	—	128円	—
	ユーロ	142.32円	—	140円	—

※2023年10月30日に
業績予想修正開示を行いました。²¹

抄紙用具関連事業、前年同期比 増収・増益

抄紙用具関連事業 → 国内製品価格改定、海外ベルト増販、加えて為替が円安に推移。
工業用事業 → 需要回復遅れによる緩衝材が減少。

売上高

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減額	増減率	(単位：百万円)
抄紙用具関連事業	6,241	6,631	389	6.2%	
工業用事業	273	228	△45	△16.5%	
調整額	—	—	—	—	
連結	6,515	6,860	344	5.3%	

営業利益

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減額	増減率
抄紙用具関連事業	1,102	1,327	224	20.4%
工業用事業	32	14	△18	△55.2%
調整額	△804	△692	—	—
連結	330	649	318	96.4%

ベルトは前年同期比増収、フェルト・工業用は減収










製品		概要
フェルト	販売数量 減	国内外の製品価格改定による効果発現、及び為替の影響による増収要素あるも、中国経済悪化に伴う国内外の板紙需要の減少、北米の大手顧客生産集約により販売数量減、減収。
ベルト	販売数量 増	衛生用紙向け製品の品質は引き続き評価され、海外ベルトは販売数量増、これに加え為替の影響もあり増収。
工業用	販売数量 減	電子業界における2022年後半からの需要回復遅れにより、緩衝材の販売数量が減少。

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減額	増減率
フェルト	3,591	3,551	△40	△1.1%
ベルト	2,549	2,943	394	15.5%
工業用その他	374	365	△8	△2.3%
合計	6,515	6,860	344	5.3%

(単位：百万円)

仕向地別売上高推移

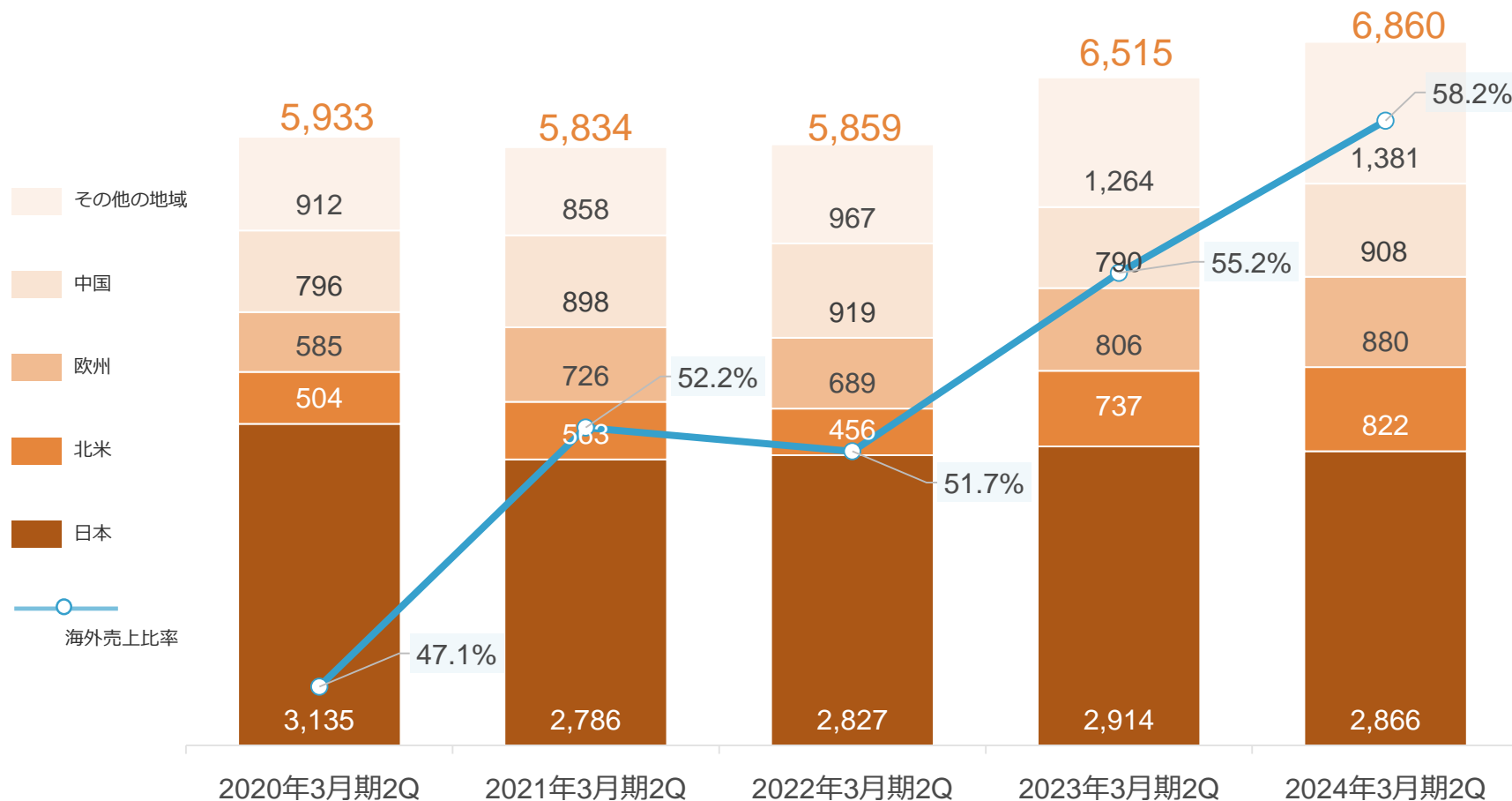
北米・欧州・中国・その他の地域（韓国・タイ・南米等）で前年同期比増収

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	2024年 3月期 2Q	対前年同期 増減率	対前年同期 数量
日本	3,135	2,786	2,827	2,914	2,866	△1.7%	フェルト  ベルト 
北米	504	563	456	737	822	11.5%	フェルト  ベルト 
欧州	585	726	689	806	880	9.1%	フェルト  ベルト 
中国	796	898	919	790	908	14.9%	フェルト  ベルト 
その他の 地域	912	858	967	1,264	1,381	9.2%	フェルト  ベルト 
売上合計	5,933	5,834	5,859	6,515	6,860	5.3%	—

仕向地別売上高・海外売上比率推移

海外向けの増収が牽引

(単位：百万円)



売上高

- ▶ 需要減や大手顧客の生産集約等による国内/海外フエルトの販売数量減があったが、製品価格改定など販売単価上昇が寄与。
- ▶ 海外ベルトの販売数量増及び為替相場の円安による海外売上高増加。

売上原価

- ▶ 原材料費上昇もエネルギーコスト減。

販管費

- ▶ 船賃、サーチャージ減により輸送コスト減。
- ▶ 拡販のための出張活動増加など販売費増。
- ▶ 研究活動効率化のための開発研究所移設に伴うコスト増。

(単位：百万円)

国内売上高 $\Delta 48$
 海外売上高 393
 数量差異 $\Delta 46$
 為替影響 245
 単価影響 145

原材料上昇 $\Delta 99$
 エネルギーコスト減 40
 売上数量減 64

運送コスト減 91
 販売活動増加 $\Delta 82$
 研究所移設 $\Delta 14$

売上高
344

売上原価
 $\Delta 4$

販管費
 $\Delta 21$

2023年3月期
2Q
330

2024年3月期
2Q
649

連結貸借対照表

自己株式取得により自己資本比率低下

	2023年3月期	2024年3月期 2Q	増減	(単位：百万円) 主な変動要因
総資産 計	26,643	28,485	1,842	
流動資産	13,813	14,964	1,150	現金及び預金 346 受取手形・売掛金 623
有形固定資産	8,997	8,909	△87	
無形固定資産	74	63	△11	
投資その他の資産	3,757	4,548	790	投資有価証券 788
負債 計	7,128	7,922	794	
流動負債	3,159	3,689	529	未払金 279
固定負債	3,968	4,233	265	繰延税金負債 236
純資産 計	19,515	20,563	1,047	
株主資本	17,873	18,027	153	利益剰余金 400 自己株式取得△247
その他	1,641	2,536	894	
自己資本比率	73.2%	72.2%	△1.0%	
ROE ※	2.4%	2.9%	0.5%	

※ROEは第2四半期の実績から算出しております。

連結キャッシュ・フローの状況

営業活動C/Fの税金等調整前四半期純利益上昇により期末現預金は前年同期比 増加
 設備投資額は大型案件により増加。

(単位：百万円)

	2023年 3月期 2Q	2024年 3月期 2Q	前年同期比	主な変動要因
営業活動による キャッシュ・フロー	597	775	178	税引前四半期純利益 259
投資活動による キャッシュ・フロー	△114	△38	75	投資有価証券の売却 194 有形固定資産の取得△115
財務活動による キャッシュ・フロー	△172	△503	△330	自己株式取得△268 配当金増配△ 46
現金及び現金同等物の 期末残高	4,867	6,109	1,242	
	2023年 3月期 2Q	2024年 3月期 2Q		
設備投資額	176	415	開発研究所移設	183
減価償却費	501	511		
研究開発費	160	165		

04

2024年3月期
業績予想及び株主還元

売上高はほぼ前期並み。税金負担増により減益の見通し。

売上

抄紙用具関連事業 →国内・海外フエルト減収も、海外ベルト増収により、ほぼ前期並み。

工業用関連事業 →ほぼ前期並み。

利益

フエルト販売数量減及びエネルギーコスト減により売上原価減少。

拡販のための出張費や海外子会社人件費増により販管費増。

税金負担率増により当期純利益減。

	2023年3月期	2024年3月期 [※]	増減額	増減率	(単位：百万円) 当初予想	
売上高	13,344	13,300	△44	△0.3%	13,300	
抄紙用具関連事業	12,796	12,750	△46	△0.4%	12,706	
工業用事業	547	550	3	0.5%	593	
営業利益	800	700	△100	△12.6%	610	
経常利益	1,044	1,000	△44	△4.2%	720	
親会社株主に帰属する 当期純利益	833	600	△233	△28.0%	410	
一株当たり当期純利益	182.06円	134.10円	—	—	89.56	
為替レート	米ドル	133.54円	135.00円	—	—	128.00円
	ユーロ	145.72円	145.00円	—	—	140.00円

※2023年10月30日に 業績予想修正開示を行いました。

フェルト・減収も、ベルトは増収の見通し

製品		概要
フェルト	国内販売数量 減 海外販売数量 減	中国経済悪化に伴い、当年度の需要は回復しないと見込む。
ベルト	国内販売数量 減 海外販売数量 増	国内はシュープレス用ベルトの販売数量減により減収。 海外はシュープレス用ベルト・トランファー用ベルト販売数量増により増収。
工業用	販売数量 横ばい	

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	増減率
フェルト	7,278	6,909	△369	△5.1%
ベルト	5,325	5,651	326	6.1%
工業用その他	740	740	0	0%
合計	13,344	13,300	△44	△0.3%

日本・その他の地域は減収、中国は増収の見通し

中国は前年度に大手顧客のマシン改造により需要が減少、当年度は反動で増収の見通し。
日本・その他の地域は中国経済の悪化により、当年度の需要は回復しないと見込む。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	増減率	数量比
日本	5,948	5,749	△199	△3.3%	フェルト  ベルト 
北米	1,333	1,341	8	0.6%	フェルト  ベルト 
欧州	1,565	1,582	17	1.1%	フェルト  ベルト 
中国	1,750	1,950	200	11.4%	フェルト  ベルト 
その他の地域	2,746	2,678	△68	△2.5%	フェルト  ベルト 
合計	13,344	13,300	△44	△0.3%	—

売上高

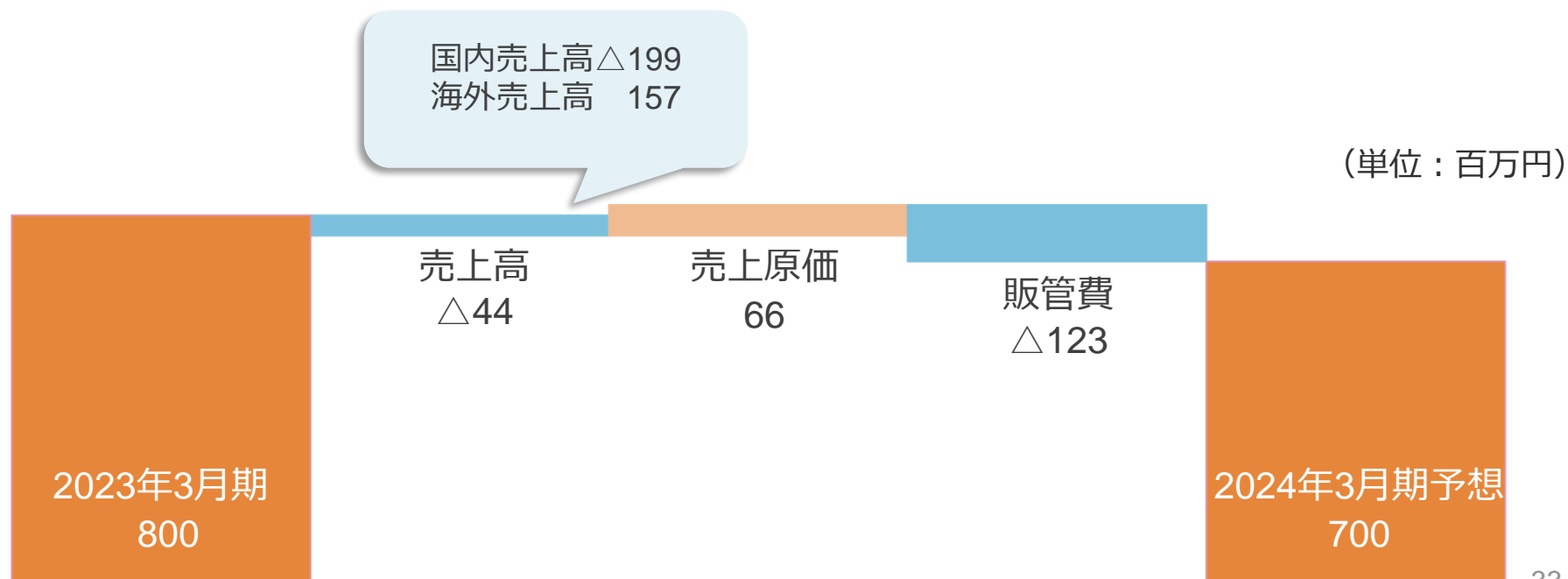
- ▶ 国内・海外フェルトの一時的な需要減見込み。
- ▶ 海外ベルトの増販見込み。

売上原価

- ▶ フェルト販売数量減及びエネルギーコスト減による製造原価減。

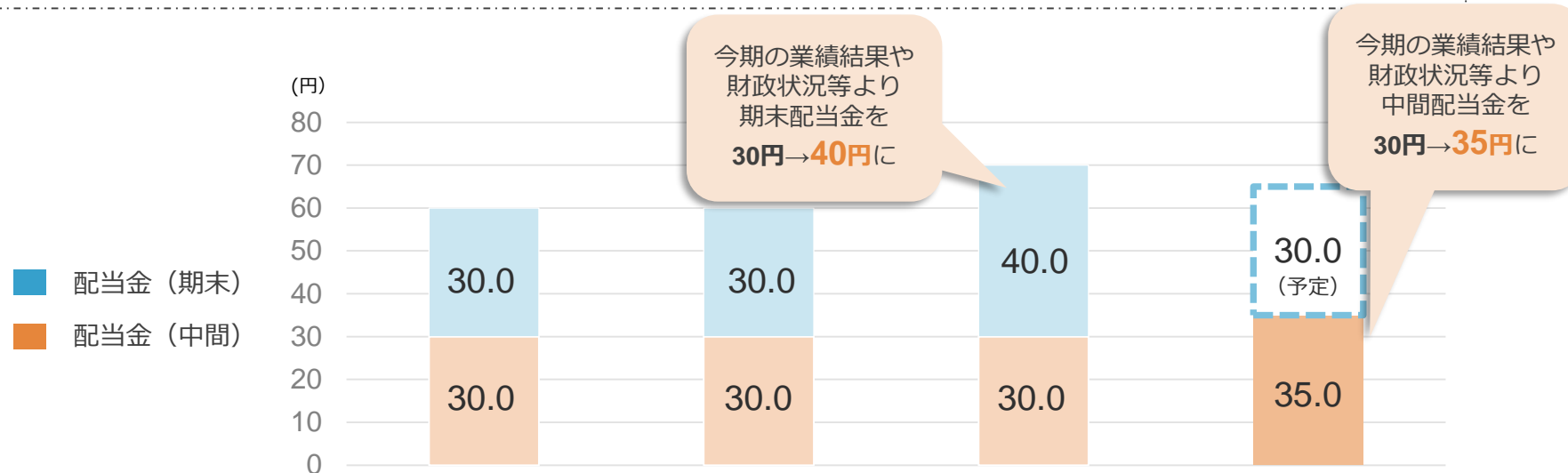
販売費及び一般管理費

- ▶ 出張及び海外子会社人件費増により販管費増。



当社配当方針

- 安定的かつ積極的な利益還元
- 配当性向：1株当たり連結当期純利益の30%以上を目標



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	369	523	833	600
1株当たり当期純利益 (EPS) (円)	80.80	114.45	182.06	134.10
配当性向 (%)	74.3%	52.4%	38.4%	48.5%

05

企業価値向上へ

ROE・PBRは低水準で推移 株式市場での評価改善に取り組む

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期2Q
自己資本利益率 (ROE)	2.0%	2.0%	2.0%	2.8%	4.4%	2.9%
株価純資産倍率 (PBR)	0.35倍	0.35倍	0.35倍	0.33倍	0.31倍	0.36倍
株価収益率 (PER)	17.8倍	17.7倍	17.4倍	12.2倍	7.3倍	12.0倍
(参考) 期末株価	1,372円	1,378円	1,407円	1,339円	1,332円	1,551円

ROE向上・PBR改善

企業価値の上昇を目指す

PLだけではなく、BSマネジメント強化

株主還元方針



- 配当性向30%以上の堅持、安定的かつ利益成長に応じた積極的な利益還元の方針
- 中長期的な成長に向けた資本活用と資本効率性とのバランスを考慮した機動的な自己株式の取得の検討
2023年9月に190,900株（総額268百万円）の自己株式取得

政策保有株式



- 2023年3月期実績 1銘柄売却 簿価127百万円減
- 2024年3月期実績 2銘柄売却 簿価205百万円減
- 今後も段階的な縮減を図る方針

投資家との対話、市場へのアピール



- 投資家へのわかりやすい情報開示・発信
- 個人投資家向けIR説明会の新規実施（2023年12月23日実施予定）
- スモールミーティング実施

売上高や利益率の向上



- 中期経営計画など抄紙用具事業拡大戦略の推進
- 利益につながる成長投資の実施検討

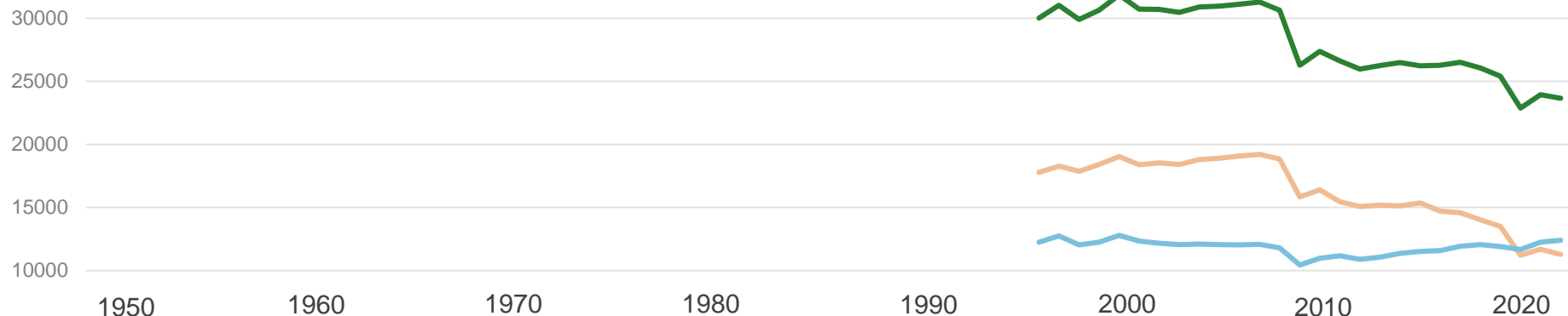


參考資料

紙・板紙生産量の推移 (1996年～)

青：板紙 オレンジ：紙 緑：合計

出典：日本製紙連合会より
(千トン)



49 59 64 70年代 84 88 98 01 02 03 05 05 14 15 18

市川毛織(株)設立(本社…千葉県市川市)

抄紙用フェルトを台湾へ初めて輸出

柏工場(千葉県柏市)を新設、
ニードルフェルトの製造を開始

70年代 シュープレス用ベルトの開発に取り組み

84 米国現地法人イチカワ・ノース・アメリカ・
コーポレーション(INAC)を設立

88 シュープレス用ベルト第1号をアメリカに輸出

98 シュープレス用ベルトの開発で
紙パルプ技術協会から「佐々木賞」を受賞。

01 トランスファー用ベルト第1号をドイツに輸出
ドイツ現地法人イチカワ・ヨーロッパ GmbH を設立

02 品質マネジメントシステム「ISO9001」認証取得
03 中国現地法人宜紙佳造紙脫水器材貿易(上海)
05 有限公司を設立

05 イチカワ株式会社に商号変更

14 タイ現地法人イチカワ・アジア・カンパニー
リミテッドを設立
15 抄紙用フェルト製品「Zimoシリーズ」を販売開始
18 シュープレス用ベルト製品「Ichiki」を販売開始

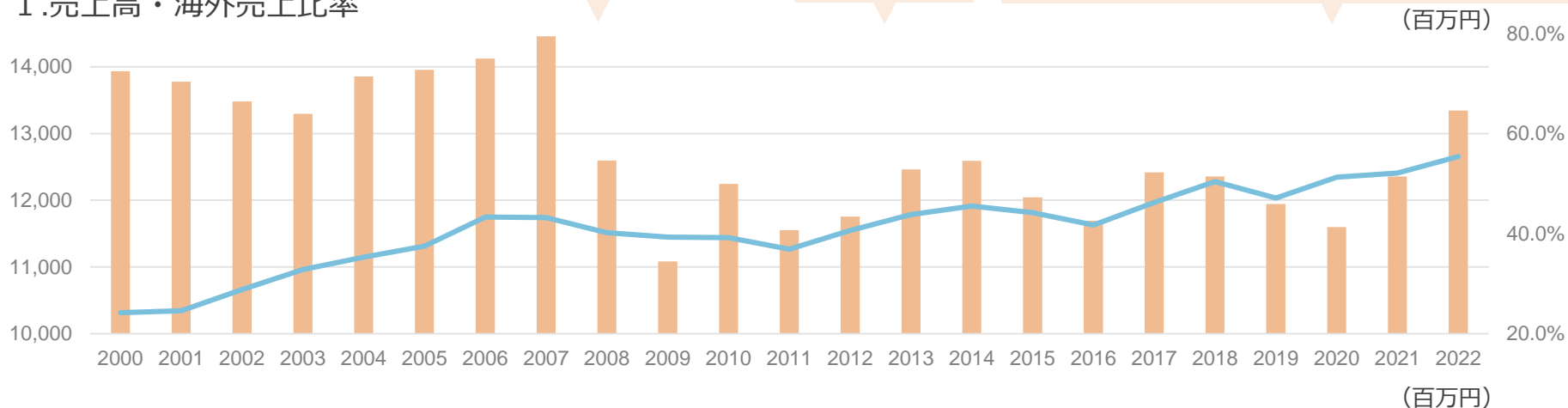
売上高と営業利益の推移（連結）

2008～2009年
リーマン・ショックの影響
による国内需要の大幅減少

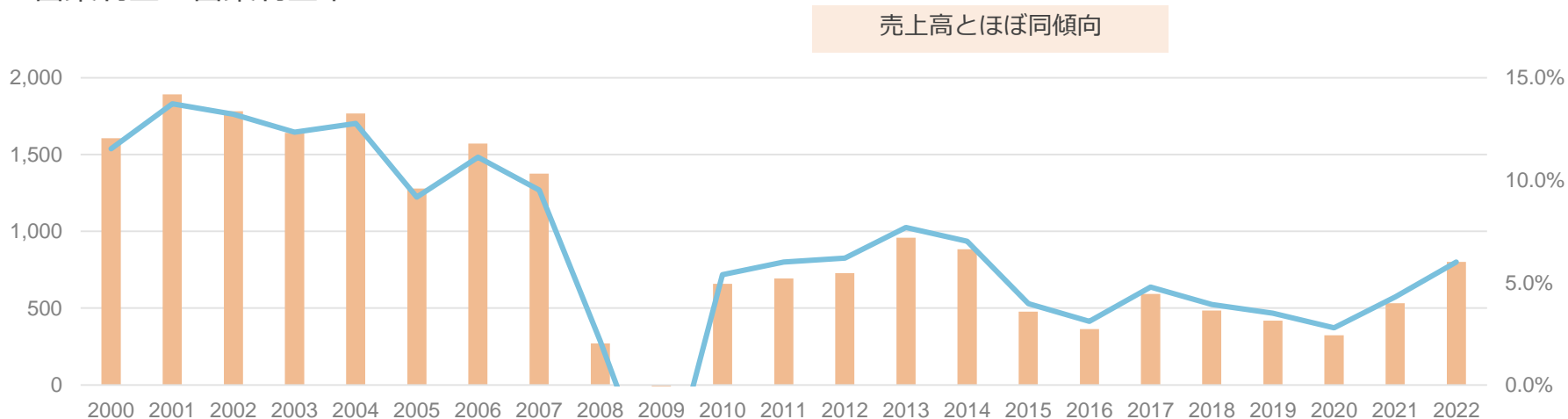
2010年代～
国内需要が
回復せず低迷

2020年～
コロナウイルスの影響で一時低迷も
海外売上高の増加、製品価格改定により連続増収

1. 売上高・海外売上比率



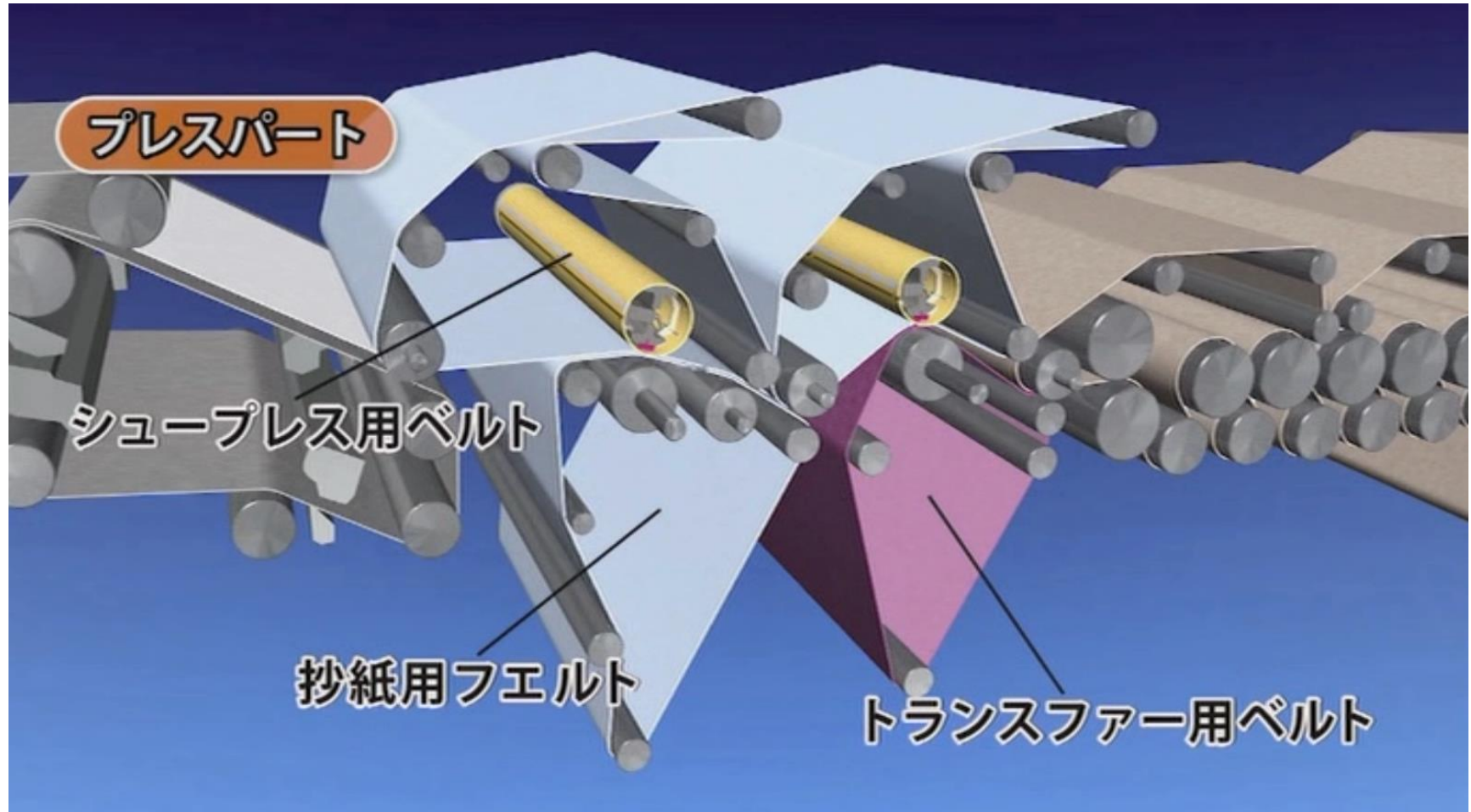
2. 営業利益・営業利益率



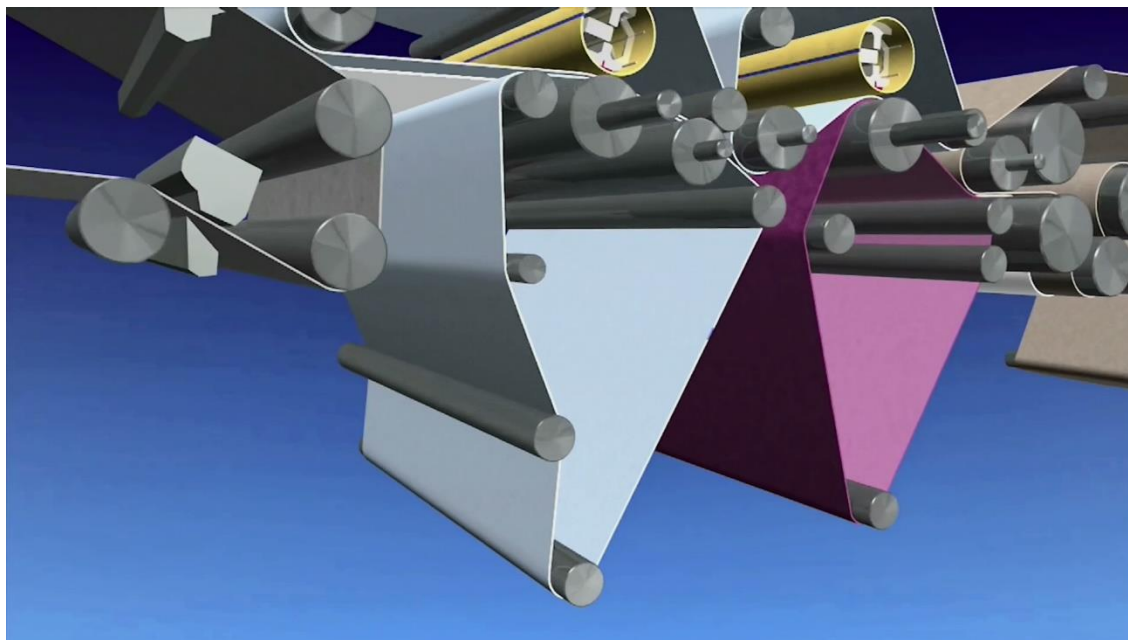
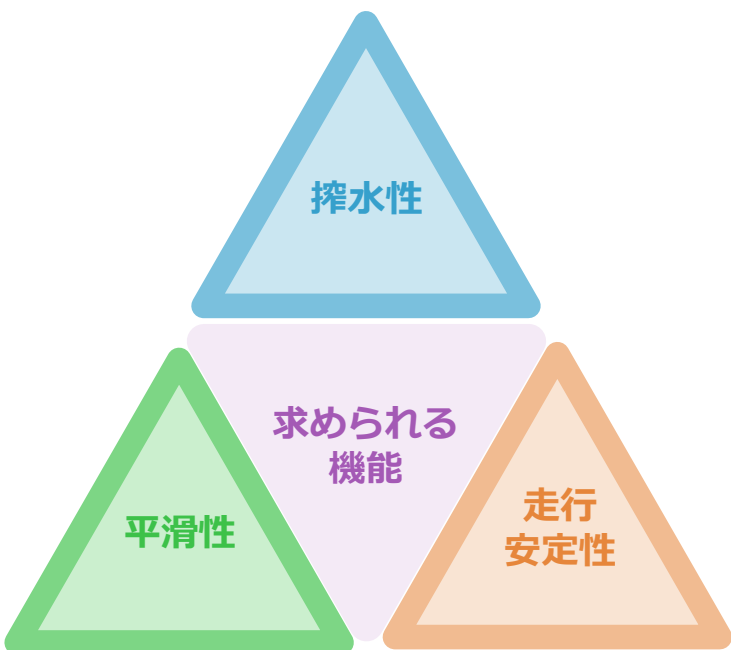
※2009年：△656百万円

国内メーカーでプレスパート全用具を製造・販売しているのは

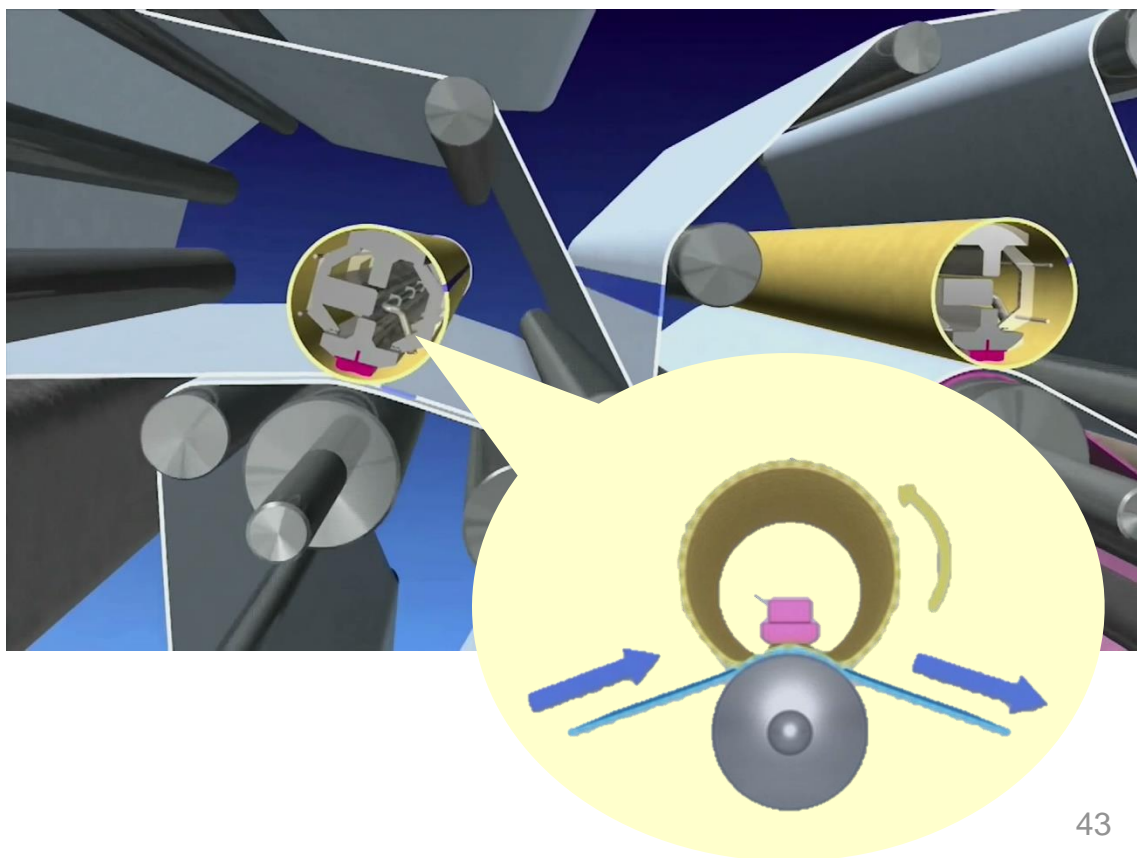
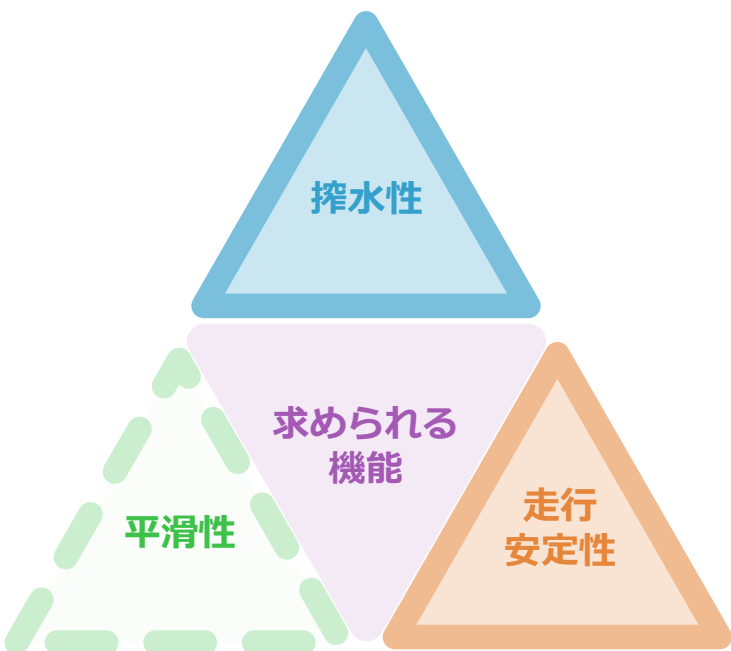
「イチカワ」のみ ※世界でも「9社中3社のみ」



- 搬送されてきたシート（湿紙）の水分を搾る
- 紙肌を平滑にする

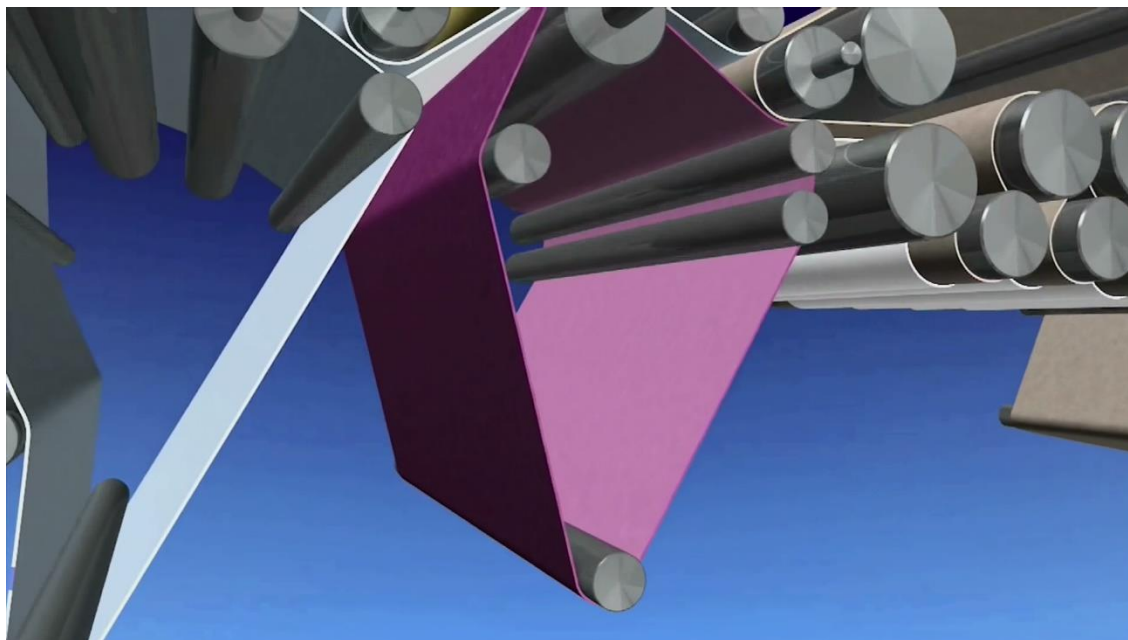


特殊な樹脂の特性により加圧下で変形する → 紙をプレスする面積を広げられる
= 脱水効率向上を高める役割



脱水後の再湿※を抑え、省エネルギー化に貢献し、平滑な紙肌を作る役割
2,000m/分クラスの高速度稼動でも安定して紙の製造を可能にしている

※再湿・・・脱水した水が紙に戻る現象



主要海外市場（北米・欧州・アジア）に拠点を置いたグローバルな販売体制

現地法人：アメリカ、ドイツ、中国、タイ 販売代理店：約30社

現在、45か国以上、約470工場と取引



- 本社
Head Office 总公司
- 現地法人 (INAC, IEG, ICC, IAC)
Local Subsidiary 当地法人
- 代理店およびローカルオフィス
Local Agency and Local Office
地方经销代理及地方办事处
- 当社販売地域
Our Sales Area 销售地域

※ロシアについては、現在、抄紙用フェルトの輸出は禁止されている。
なお、シュープレス用ベルトの輸出実績あり。

主要得意先

世界の製紙企業売上ランキング（2021年）

順位	企業名	国	紙パ関連売上高 (百万ドル)	販売実績※		
				フェルト	ベルト	トランスファー ベルト
1	P&G	米国	19,736	○	—	—
2	インターナショナル・ ペーパー	米国	19,363	○	○	—
3	ウエストロック	米国	18,746	○	○	—
4	王子HD	日本	13,395	○	○	○
5	スマフィット・カップ	アイルランド	11,946	○	○	—
6	UPM	フィンランド	11,443	○	○	○
7	DSスミス	英国	9,959	○	○	—
8	ナイン・ドラゴンズ・ ペーパー	中国	9,547		○	—
9	ストラエンソ	フィンランド	9,523	○	○	—
10	モンディ	英国	9,134		○	○

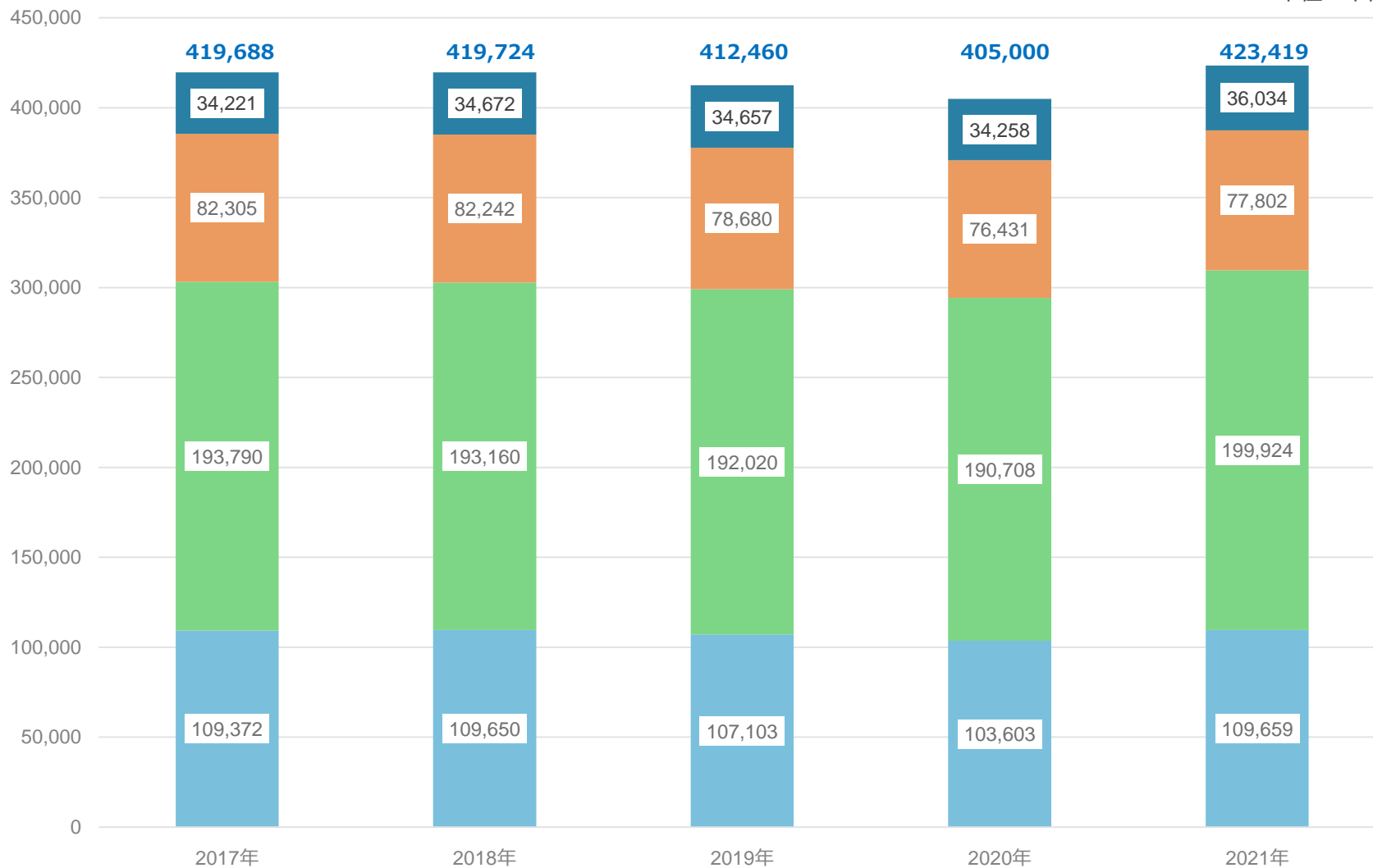
（出典：paper360°）

➡上位10社すべてに販売実績あり

※該当用具を使用しない場合「—」で表示。

世界の紙・板紙生産量

単位：千トン



(出典：FUTURE誌を基に当社作成)

■ 欧州 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

人事戦略

- ・ 管理職を対象にジョブ型人事制度を導入。
- ・ 一般職の人事評価制度の変更。
- ・ 教育制度の見直しと拡充。

DX戦略

- ・ データとデジタル技術の利用
 - ① 人の生産性の向上(第一段階)
 - ② 保有データの有効活用による生産性向上、品質の安定、設計精度の向上、取引先への情報提供の推進 (第二段階)
 - ③ 取引先の操業に関するソリューションなどの新しい価値の提供 (第三段階)
 - ④ 情報を中心とした仕事のやり方と製品を含むサービスを提供する会社への変容 (CXの確立)



SDGs戦略

- ・ 経営の重要課題と位置付け活動を活発化。
- ・ 環境負荷を低減。
- ・ 地域に密着した持続的成長を指向し製紙業界が目指すゼロカーボンへ貢献。
➡ プレスパートで1%多く水分を搾るとドライヤーパートのエネルギー消費量5%削減



ガバナンス戦略

- ・ プライム市場と同等のガバナンスを構築し、成長戦略を推進。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測した
ものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画などとは異
なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

イチカワ株式会社
総務部IR担当

〒113-8442 東京都文京区本郷2-14-15
TEL : 03-3816-1111